

教科目名 設計製図Ⅲ (Machine Design and Drawing Ⅲ)

学科名・学年 : 機械工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 2 単位 (前期 2 コマ, 授業時間 39 時間)

担当教員 : 利光和彦, 加藤勝敏

授業の概要			
<p>【ポンプ】これまで学習してきた専門科目と設計製図の知識, 実習の体験をもとにして, 与えられたデータに基づき渦巻きポンプの設計を行い, 図面化する. 性能計算には水力学の知識が必要になるので復習しておくこと.</p> <p>【エンジン】これまで学習してきた専門科目と設計製図の知識, 実習の体験をもとにして, 与えられたデータに基づき可搬式 4 サイクルガソリンエンジンを設計し, 図面化する. 授業の前半は, 設計法にあて, 計算式の考え方, 各部寸法の決めかたを説明する. 残りの時間は, 各自計算し寸法を決めていく. 後半は, 決めた寸法をもとにして図面作成をする.</p> <p>授業の最初の時間に, クラスの半数をポンプ, エンジンにそれぞれ振り分ける.</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2), JABEE 目標 (d1①) (g)	
<p>(1) ポンプまたはエンジンの設計の基礎を学び, 継続的な学習ができる. (設計書と図面提出)</p> <p>(2) 与えられた性能を満足するのに必要な性能設計計算ができる. (設計書と図面提出)</p> <p>(3) JIS 規格に準じた製作可能な図面をつくる. (図面提出)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	【ポンプ】(担当 利光) 設計課題 1-ポンプの大きさの決定	○設計の考え方, 仕様および資料について説明する.	【理解の度合い】
2	設計課題 2-ポンプ全揚程の計算	○各自与えられたデータをもとにポンプ全揚程, 所要動力などの主要諸元を決める.	
3	設計課題 3-ポンプ所要動力の決定	○渦巻き室ケーシングの作画と設計について説明する.	
4	設計課題 4-羽根車の回転数の決定	○ポンプに付随する, 主軸・軸受けについて設計する.	
5	設計課題 5-羽根車の設計		
6	設計課題 6-ポンプ本体の設計		
7	設計課題 7-ポンプ主軸の設計		
(設計書は毎時間チェックする.)			
8	設計課題 8-軸受荷重の設計		【試験の点数】 点
9	設計課題 9-軸受の選定		【理解の度合い】
10-13	設計書完成後製図		
最終提出 (設計書, 図面)			【試験の点数】 点
1	【エンジン】(担当 加藤) 1 設計の方針	○設計の考え方, 仕様および資料について説明する.	【理解の度合い】
2	2 エンジンの主要諸元の決定	○各自与えられたデータをもとに主要諸元を決める.	
3	3 燃料空気サイクルの熱計算	○PV 線図上で主要な点の温度, 圧力を決める.	
4	4 予想指圧線図の作成	○作図法を説明する.	
5	5 平均有効圧力の検討	○はじめに設定した平均有効圧力が妥当か検討する.	
6	6 ピストン, クランク機構の力学	○ピストンの運動特性, 作用する諸力について説明する.	
7	7 主要部品の設計 (ピストン, ピストンピン, ピストンリング, コンロッド)		
中間提出 (設計書)			
8	中間提出結果の内容について説明	○JIS 規格, 有効桁数, 加工精度, 許容応力を考えながら各部品の寸法を決める, 寸法を大きく取っていくと, バランスウエイトが大きくなり, 不都合が生じるので注意.	【試験の点数】 点
9	8 主要部品の設計	○計算しない細かい部分の寸法は資料見本の図面を参考にして決める.	【理解の度合い】
10	クランク軸, エンジンの平衡,		
11	フライホイール, 弁, カム, カム軸,		
12	ねじり振動		
13	(各自計算と作図)		
最終提出 (設計書, 図面)			【試験の点数】 点
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・電卓・レポート用紙は毎回準備しておくこと. ・設計製図で大事なことは, 学生どうしでお互いにディスカッションして良い設計にすることである. 		【総合達成度】
教科書	【ポンプ】自作テキスト 【エンジン】自作テキスト		
参考図書	設計に関するすべての著書		
自学上の注意	設計課題 10×4 時間+図面 20 時間=60 時間以上を目安として自学自習する.		
関連科目	設計製図 I, 設計製図 II, 計測工学, 機械設計法 II 【ポンプ】流体機械, 水力学 【エンジン】熱機関工学, 熱力学		
総合評価	最終成績=0.7×(設計書の点)+0.3×(図面点) 設計書・図面の両方を提出し, それぞれが 50%以上の評点があり, かつ総合評価が 60 点以上を合格とする.		【総合評価】 点